

今後の越谷サンシティのあり方に関する方針案（答申）の構成（案）

■経過

1 南越谷駅・新越谷駅周辺地域にぎわい創出事業構想（令和2年（2020年）3月）抜粋

Ⅲ 新たな越谷サンシティの機能と駅周辺の都市基盤整備の検討
にぎわい創出懇談会からの報告書や意見を踏まえ、以下の事項について検討していく

1 新たな越谷サンシティの機能の検討

- ①行政機能（図書室、出張所等） ②イベントホール ③広場・公園
- ④子育て関連施設・世代間交流施設 ⑤宿泊施設（ホテル） ⑥MICE・オフィス
- ⑦その他 ①～⑥が有機的に結びつき、にぎわい創出にシナジー効果をもたらす仕組みを検討

2 越谷サンシティ整備基本計画（令和3年（2021年）4月）抜粋

- 1 本事業の背景
- 2 検討経緯

3 新たな越谷サンシティの整備に向けたコンセプト

- ① シビックプライド（郷土愛）を醸成するシンボリックな空間の形成
- ② 人を育て、人から愛される施設
- ③ 広い視野を持った『にぎわい』づくりと経済効果の実現
- ④ 最新テクノロジーの導入、活用

4 施設整備・機能の検討

施設規模の詳細、施設配置等は、今後、「実施方針」や「要求水準書」にて定める

① 施設整備の考え方

- (1) 建て替え
- (2) 民間活力の活用
- (3) 防災拠点、気候変動への対応

② 公共施設（機能）と民間施設の考え方

(1) 公共施設（機能）の方向性

イベントホール1	現状の大ホール（1,675席）と同程度以上
イベントホール2	現状の小ホール（490席）と同程度以上
イベントホール3	現状の展示ホール（394.8㎡）と同程度以上
図書室	現図書室と同機能
出張所	現出張所と同機能
広場	市民の憩い／イベントの開催

(2) 民間施設の方向性

民間事業者の提案により決定する
※公共施設（機能）との相乗効果が期待できる施設・機能を検討

アリーナ、サテライトオフィス、MICE、ホテル、商業施設、産業振興や文化創造に寄与する施設、職業体験施設、子育て関連施設など
→民間施設の一部に公共機能を取り込む可能性についても検討

5 事業手法の検討

- 公共施設および民間施設一体での整備・運営を基軸として
- 公共と民間の公平かつ持続可能なリスク分担の在り方を模索し、
- 民間事業者の創意工夫を最大限取り入れられるような事業手法を検討する

6 整備スケジュール、想定事業費

3 越谷サンシティ整備基本計画の一部見直し(案)（令和5年（2023年）5月）抜粋

4 施設整備・機能の検討

① 施設整備の考え方

- (1) 建て替え → 公共施設（機能）部分＝大規模改修
民間施設部分＝建て替え

■審議会からの答申の構成（案）

* 網掛けの内容は今後の調査審議の結果を反映（現状は左記 2 および 3 の内容を掲載）

今後の越谷サンシティのあり方に関する方針案

1 新たな越谷サンシティの整備に向けたコンセプト

- ① シビックプライド（郷土愛）を醸成するシンボリックな空間の形成
- ② 人を育て、人から愛される施設
- ③ 広い視野を持った『にぎわい』づくりと経済効果の実現
- ④ 最新テクノロジーの導入、活用

2 施設整備・機能

施設規模の詳細、施設配置等は、今後、「実施方針」や「要求水準書」にて定める

① 施設整備の考え方

- (1) 公共施設（機能）部分＝大規模改修
民間施設部分＝建て替え
- (2) 民間活力の活用
- (3) 防災拠点、気候変動への対応

② 公共施設（機能）と民間施設の考え方

(1) 公共施設（機能）の方向性

イベントホール1	現状の大ホール（1,675席）と同程度以上
イベントホール2	現状の小ホール（490席）と同程度以上
イベントホール3	現状の展示ホール（394.8㎡）と同程度以上
図書室	現図書室と同機能
出張所	現出張所と同機能
広場	市民の憩い／イベントの開催

(2) 民間施設の方向性

民間事業者の提案により決定する
※公共施設（機能）との相乗効果が期待できる施設・機能を検討
アリーナ、サテライトオフィス、MICE、ホテル、商業施設、産業振興や文化創造に寄与する施設、職業体験施設、子育て関連施設など
→民間施設の一部に公共機能を取り込む可能性についても検討

3 事業手法

- 公共施設および民間施設一体での整備・運営を基軸として
- 公共と民間の公平かつ持続可能なリスク分担の在り方を模索し、
- 民間事業者の創意工夫を最大限取り入れられるような事業手法を検討する

〔参考〕越谷サンシティのあり方に関する審議会の調査審議の範囲

本審議会が調査審議する対象は現在の所在地であり、現在の所在地外については対象外

